

武蔵大学 NEM HOUSE が竣工

— 留学生、在学生のための集合住宅が誕生しました —

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、10/17（木）に「NEM HOUSE」の竣工式を行いました。本学の留学生および在学生に勉学と生活のための良好な環境を提供し、修学支援、グローバル教育の実現を目的とした施設として、江古田キャンパスより徒歩 1 分の場所に開設。共用施設として 2 階と 3 階にオープンキッチンを設け、各居室には勉強机、洋服ラック、書架、ベッド、冷蔵庫、エアコン、バス・トイレ、Wi-Fi も完備しプライバシーを確保した 3 階建て 41 室の集合住宅になっています。

施設概要

施設名称：NEM HOUSE（ネム ハウス）

※「根津育英会武蔵学園」と「武蔵大学」の頭文字から名付けられました。

所在地：江古田キャンパスより 徒歩1分

建築面積：487.59 m²

延床面積：1284.26 m²

構造：壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造

建物概要：地上 3 階

施設内容：居室 41 室（うちバリアフリー居室 1 室）、
共用オープンキッチン（2 階、3 階）、
共用ランドリールーム 他

使用料：月額 80,000 円（室料、光熱水費、Wi-Fi 使用料含む）

レジデント・アシスタント(RA)制度：

NEM HOUSE に居住しながら、入居者のさまざまなサポートや施設管理等を行うことで、将来リーダーとして活躍するための研鑽の機会を得られるレジデント・アシスタント制度(RA)を設けます。RA に選任された方は月額使用料が減額されます。



NEM HOUSE 外観



NEM HOUSE エントランス

内観の様子



居室（左）・バリアフリー居室(右)



共用オープンキッチン(2 階・3 階)



共用ランドリールーム(24 時間利用可能)

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・五月女（ますだ・そうとめ）

TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 德行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

